

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17090	放課後児童クラブ事業	課名	子ども未来課 子育てサポートG
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進	03:民生費	
	施策の方向	04:仕事と子育てが両立できる環境づくり	02:児童福祉費	
戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト	01:児童福祉総務費		
事業予定期間	H 17 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	児童福祉法、放課後児童健全育成事業実施要綱	

目的・概要	対象	小学生および保護者
	目的	就労等により保護者が昼間に家にいない小学生の安全な居場所を確保し、保護者が就労等と子育ての両立ができる環境づくりを行う。
概要	放課後児童クラブを運営する地域組織および社会福祉法人等に、クラブ運営に必要な経費に対する補助を行う。また、亀山南小学校敷地内に放課後児童クラブを整備する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	放課後児童クラブの運営補助 ・21施設(公設8、民設13) 放課後児童クラブの開始補助 ・2施設 放課後児童クラブの整備 (亀山南小学校区)	放課後児童クラブの運営補助 ・22施設(公設9、民設13)	放課後児童クラブの運営補助 ・22施設(公設9、民設13)	
	年度実績	○放課後児童クラブの運営補助 ・19施設(公設8・民設11) 補助金額合計:125,810,262円) ○放課後児童クラブの開始補助を行った。 (2施設) ○亀山南小学校区放課後児童クラブを整備した。 ○新型コロナウイルス感染症による小学校休業に伴う緊急開所(17日間)			
事業の計画・実績	計画額	事業費	191,100千円	148,400千円	148,400千円
		国庫支出金	50,090千円	43,720千円	43,720千円
		県支出金	51,000千円	44,610千円	44,610千円
		地方債			
		その他			
		一般財源	90,010千円	60,070千円	60,070千円
	予算額	事業費	183,800千円		
		国庫支出金	50,050千円		
		県支出金	50,965千円		
		地方債			
		その他	50千円		
		一般財源	82,735千円	0千円	0千円
	決算額	事業費	164,258千円		
		国庫支出金	55,751千円		
		県支出金	42,863千円		
地方債					
その他		50千円			
一般財源		65,594千円	0千円	0千円	
人件費	総人件費	11,774千円	0千円	0千円	
	一般職員	11,774千円	0千円	0千円	
	所要人員	1.50			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		176,032千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	放課後児童クラブの充足率	計画値 100	100	100
		受入件数/申込件数	実績値 100		
			単位 %	%	%
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

事業の改善	前評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>放課後児童クラブの利用者の見込を把握することで、必要となる放課後児童クラブに対して、地域に応じた受入方法を検討し、対応を進める。</p> <p>また、長期休暇子どもの居場所づくり事業を並行して行うことにより、利用希望が急増する長期休暇中のニーズに対応し、年間を通じての利用者数を平準化していく。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>事前調査により井田川小学校区及び川崎小学校区で待機児童が発生することが見込まれたが、利用調整等により待機児童の発生を抑えることができた。</p> <p>また、長期休暇子どもの居場所づくり事業を並行して行ったことにより、放課後児童クラブ以外に長期休暇中の児童に安全で健やかに過ごせる居場所を提供することができた。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>公設8支援単位、民設11支援単位に対し運営費補助を行い、子どもたちの放課後の居場所として安全で健やかに過ごせる居場所を提供することができた。また、亀山南小学校区放課後児童クラブは、それまで民設で定員20人の施設を地域と協議の上、公設として定員40人の施設に整備し、地域の運営者を指定管理者に選定した。</p> <p>一方、3月の新型コロナウイルス感染症対策のために小学校が休業となった際に、各放課後児童クラブに対し長期休暇と同様の対応として、朝から開所する緊急対応の依頼をし、実施いただいた。</p>	A
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>子どもが安心して通うことができ、過ごせる場所を整備し、その運営を財政支援することで、仕事と子育ての両立ができる環境づくりに繋がった。</p> <p>また、亀山南小学校区放課後児童クラブについては、改めて公設として整備し、受入れ機能を拡大した。</p> <p>一方、3月の新型コロナウイルス感染症対策のために小学校の休業に伴い、全ての放課後児童クラブが拡大開所いただいたことにより、安全な居場所の確保ができた。</p>	A

計画どおり実施できた
十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>第2期亀山市子ども・子育て支援事業計画において見込んでいる、放課後児童健全育成事業のニーズに対する提供体制の確保については、待機児童を出さないため、地域の状況に応じた放課後児童クラブの増設についても民間力を活用した対応が必要である。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染症への対策などそれぞれの放課後児童クラブとの情報共有が重要である。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>利用希望者が増加する小学校区の放課後児童クラブについて、利用希望者の見込を把握し入所者の調整など小学校区に応じ受入方法を検討し対応を進めるとともに、利用希望が急増する長期休暇中については、長期休暇子どもの居場所づくり事業を並行して行うことにより長期休暇中のニーズに対応し、年間利用者の平準化を行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、感染症対策物品の配布や、感染症防止対策の指導、感染者が発生した場合のクラブの対応について連携した対応を行っていく。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>放課後児童クラブで該当児童を受け入れることにより、保護者の就労等に対してサポートすることができた面があり、また受け入れた児童についても安心して安全な放課後の居場所を提供することができたことにより、健全な放課後生活を営むことができる。</p>	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	健康福祉部 子ども未来課 子育てサポートグループリーダー 高重 京子
【最終評価者】	健康福祉部 子ども未来課長 豊田 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A		
	成果	A	A	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		183,800 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	183,800 千円
	令和2年度への繰越額	千円